

2026年9月11日

## 第6回サステナブルマテリアル展に出展 再生材料・バイオ由来材料・PFASフリーなど18の素材・技術を提案

化学品専門商社のオー・ジー株式会社(社長:真銅 淳、本社:大阪市淀川区、以下「当社」)は、2026年9月30日(水)から10月2日(金)まで幕張メッセで開催される「第6回 サステナブルマテリアル展」(主催:RX Japan株式会社、小間番号:27-3)において、リサイクル・循環材料、バイオ由来材料、機能性・環境対応材料、開発・製造・評価支援の4カテゴリー、計18テーマを提案します。

当社ブースでは、廃プラスチックや使用済み漁網を再資源化する材料、植物や発酵技術を活用したバイオ由来素材、PFASフリーなど環境対応と機能性を両立する材料に加え、樹脂コンパウンド、受託合成、薬事業務の受託まで幅広く展示します。国内外のメーカーやスタートアップとのネットワークを生かし、材料の探索から試作・量産、評価まで、サステナブルなもののづくりの実現を支援する当社の提案力を紹介します。

出展内容は特設サイトで紹介しています=>[https://www.ogcorp.co.jp/news/\\_0044](https://www.ogcorp.co.jp/news/_0044)



展示ブース(イメージ)



廃漁具由来のサステナブル素材  
「amuca®」

### ■材料・技術を4つのカテゴリーで紹介

#### 1. リサイクル・循環材料「廃材や使用済み製品を、新たな材料へ。」

再生PP・HDPE、再生PET、廃漁具由来PA6、再生ABS・PC、ケミカルリサイクルPET、PC／PC・ABSのケミカルリサイクルなど、資源循環につながる材料・技術を紹介します。Teamplas Chemicalの再生PP・HDPEは、PIR・PCR原料に対応し、バージン樹脂と比較して約65%のCO2削減が可能とされています。また、BORETECHの再生PETは、自社開発の洗浄ラインと廃材調達ネットワークを生かし、ボトル・フィルム・繊維用途への展開が可能です。

#### 2. バイオ由来材料「可能原料石油由来原料に代わる、新たな選択肢を。」

FDCA・PEF、100%バイオマス由来ポリオール「ECOTRION」、バイオGBL、精密発酵による有用化合物、未利用油資源の活用技術などを紹介します。CJ BiomaterialsのバイオGBLは、100%再生可能な植物原料を使用し、従来品と比較して製品カーボンフットプリントを90%以上削減できるとしています。

### 3. 機能性・環境対応材料「必要な機能を維持しながら、環境対応へ。」

環境配慮型フォーム、非フッ素系の耐油・耐水コーティング剤、PFASフリー半導体金型離型フィルムなどを紹介します。ダイセルの半導体金型離型フィルムは、PFASフリーでありながら、柔軟性、離型性、耐有機溶剤性など、半導体モールドイング工程で求められる性能を備えています。

### 4. 開発・製造・評価支援「素材を提案するだけでなく、製品化・量産まで支援。」

樹脂コンパウンド、インドネシアでの機能性コンパウンド、インドでの受託合成、試験・薬事業務の受託など、材料開発から製造・評価までを支援するソリューションを紹介します。関係会社の旭テクノ工業株式会社・山五化成工業株式会社では、高充填・反応コンパウンドなどについて試作から量産まで対応。また、当社薬事・分析センターでは、各種理化学試験、微生物試験、安定性試験、異物調査、薬事業務などを受託しています。

## ■注目展示

### 1. 使用済み漁網を、高品質なナイロン6へ

#### 廃漁具由来のサステナブル素材「amuca®」

amu株式会社が展開する「amuca®」は、全国から回収した使用済み漁網を再資源化するサステナブル素材ブランドです。「amuca® N6 Fabric」は、回収した廃漁網をケミカルリサイクルして生産するナイロン6生地で、バージン材同等の物性を備えています。アウトドア用品やアパレルに加え、企業向けオリジナルユニフォームへの展開も可能です。



### 2. 廃PCを、原料モノマーと尿素へ

#### ReBond Materialsのケミカルリサイクル

千葉大学発スタートアップのReBond Materials株式会社は、アンモニアを用いて廃ポリカーボネート(PC)を分解し、原料モノマーと尿素へ戻すケミカルリサイクル技術の社会実装を目指しています。PC部分を選択的に分解できることから、PC単一材だけでなくPC/ABSや混合プラスチックもリサイクル対象とすることが可能です。



### 3. 食品用途にも対応する高品質な再生PET

#### BORETECH RESOURCE RECOVERY TECHNOLOGY

BORETECHは、自社開発の洗浄ラインと複数の飲料ボトル廃材の調達ネットワークを保有し、年間2.4万トンの再生PET生産能力を備えています。JCII、GRS、U.S. FDAなどの認証を取得し、ボトル、フィルム、繊維など幅広い用途への展開が可能です。

